



全国児童画コンクール&
健全育成標語 表彰

わっくつ

～明るく かしこく たくましい子ども～

令和7年度
滝沢市立柳沢小中学校
校報 第21号
令和8年3月10日
文責： 小野寺

「たまたまの不運」ではありません ～ 震災学習 より～



様が過去に地元で起きた津波などの調査を行い、研究されていたそうです。20年ほど前から花坂先生がお父様の資料を引継ぎ、過去の津波被害等を書籍などにまとめる予定だった時に東日本大震災が発生しました。当時は花坂先生自身、宮古市にお住まいで、実家が流される様子を目の当たりにしたそうです。それらの経験とお父様の資料から、震災直後の忙しい中、短時間でまとめたものが、今回、読み聞かせしていただいた「幻燈会の夜」という絵本でした。

この絵本の舞台は明治29年の（宮古市）鉾ヶ崎でした。当時たまたま開催された「幻燈会」の夜に地震と津波が発生し、多くの家が流され、住民が亡くなりました。幸い、幻燈会に参加した一部の住民と子ども達が難を逃れたお話でした。具体的な資料に基づく挿絵、そして地元宮古出身の花坂先生の真に迫った演技のおかげで、聞いている人は、まるで目の前で一連の出来事が起きているように感じました。

読み聞かせをしていただいた後、児童生徒が感想を発表しました。地震や津波の前に井戸の水が下がっていたことや魚が取れなくなったり急に大量になったりといった予兆があったことを大事にしたい、地震や津波があったら絶対に海に近づかないようにしたい等の感想があげられました。災害や危険について理解を深めることができたようです。そして災害は繰り返し起きること、どこでも起きることを改めて学びました。いつもは東日本大震災を中心に学んでいるこの時期ですが、災害に関する枠を少し広げて学ぶことができました。

花坂先生からは、今回の読み聞かせにあわせて「幻燈会の夜」の絵本を一冊寄贈していただきました。本校の図書館に納めますので、今後も機会があれば児童生徒のみなさん、関心をお寄せいただいた方々に手に取って直接見ていただきたいと思います。



2月26日（木）5校時に震災学習会を行いました。例年、3月11日に行ってきた行事ですが、今年は時期を前倒して、外部の方に講師をお願いすることにしました。

今年の講師は、現在奥州市の小学校に勤務されている、花坂徹（てつ）さんをお願いしました。花坂先生は宮古市の出身で、津波に関わる震災学習に取り組んでおられます。郷土史家だったお父

お互いに学び合いました

～ 小学校総合的な学習交流会 ～



た。それぞれ、テーマを選んだ理由、調べた方法、分かったこと、成長した事等、筋道立てて説明しました。掲示物を作成した人がほとんどでしたが、中にはプラバンの作品をつくった人、ジオラマで立体的に説明しようとした人等、工夫がたくさん見られました。テーマは、自分が興味を持ったことの中から選びましたが、一番多かったのは岩手山に関わるテーマでした。3年生の晴陽さんは「岩手山周辺の温泉」というテーマで発表しましたが、質問等の場面では参加した地域の方から、追加の情報もいただきました。なんと、以前、柳沢地区にも温泉があり、地域の方も利用したのだそうです。ほかにも聞く側の児童生徒・地域の方から意見・感想などをいただき、自分たちの学びを深めることができました。

学習の中で調べる学習はよく行われます。ただお互いに発表したり、聞いて深めたりはなかなかできないのが実情です。やなぎっ子のみなさんは限られた時間の中でよく調べ、なれない形式の中、発表したと思います。また、質問にも対応し深めることができました。どの児童からも「楽しかった。」という感想と同時に「またわからないことが出てきた。」という感想が聞けたことから、学習が深まったことが感じられました。

総合的な学習 研究テーマ(順不同)

小学校3年～6年生

- ・岩手山周辺の温泉
- ・岩手山の木
- ・気になるキノコ
- ・岩手山の魅力
- ・岩手山の伝説
- ・岩手山の噴火
- ・岩手山のキャラクター



岩手山のキャラクター 岩ちゃんと山くん

3月4日(水)3・4校時に多目的ホールを会場に、「総合的な学習交流会」を行いました。小学校の3年生から6年生の児童が総合的な学習の時間に調べたことを「ワールドカフェ」という形式でお互いに発表・交流するための行事でした。発表はしませんでした。1・2年生もその発表をききました。昨年の「フェス」という形式の発表と同じように、外部の方々もお招きして行いました。全体の発表が終わった後、前職員の鈴木誠先生から講評をいただきました。

「ワールドカフェ」形式とは参加者がいくつかのテーブルに分かれ、そのテーブルを発表者が順番に回りながら発表したり、質問に答えたりしていく形式です。発表者は同じ内容を、テーブルの数だけ説明することになります。

今回、児童とお客様は3つのテーブルに分かれて座りました。一人当たり3回、自分の研究・作品を説明したので、発表した児童生徒のみなさんは3回目にはかなり手馴れて上手になっていました。

発表はとても分かりやすく工夫されていました。